

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

病害虫発生予察情報について

標記について下記のとおり発表したので送付します。

病害虫発生予察 特殊報 第 1 号

- 1 病害虫名 タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)
- 2 発生作物 ナス
- 3 発生地域 泉州地域
- 4 寄生作物 ナス、トマト、じゃがいも等 ナス科植物
- 5 発生の状況
 - (1) 令和元年 7 月、泉州地域の露地ナスほ場において、葉を食害するハムシが確認された。
 - (2) このハムシについて、農林水産省神戸植物防疫所に診断依頼したところ、タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis*(Melsheimer) と同定された。
 - (3) 本種の大阪府での発生確認は初めてである。
 - (4) 本種はアメリカ合衆国を原産とする外来種で、国内では、平成 23 年に群馬県で初めて発生が確認され、その後、栃木県、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、大分県、新潟県、奈良県、滋賀県および岡山県で発生が報告されている。
- 6 形態及び被害

成虫は体長 1.5～2.5mm、長楕円形でやや扁平であり、上翅は密な短刺毛に覆われる。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅の中央部に不明瞭な黒斑を持つ。また後腿節は肥大化している（図 1）。
- 7 被害

成虫は葉の表皮を残し、あるいは葉を貫通して食害するため、葉に直径 1～2mm 程度の多数の小さな白点状の食害痕や丸い穴ができる（図 2）。
- 8 防除方法

令和元年 7 月現在、本種に対する登録農薬はないが、本府や他県の事例では、減農薬栽培のほ場で発生しており、慣行の防除を行っているほ場で被害が拡大することはないと考えられる。本種が寄生しているナスの栽培終了時には、近隣のナス科作物へ本種が移動しないように、残渣を速やかに処分する。



図 1 タバコノミハムシ成虫



図 2 ナスの被害葉